

## 福祉の充実



久米島船後継者育成事業

渡航費の一部助成を継続してまいります。

島で安心して子育てが出来る環境づくりの実現を目指すために、出産助成金、出産祝い品を交付しております。引き続き子育て世代への支援として、経済的負担軽減につながるよう努めてまいります。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供できることを目的にした「子育て包括支援センター」を昨年開設したところです。

乳幼児健診、5才児健診において支援が必要と判断された親子への支援充実を図るとともに、子育てに関する情報や活動、支援を包括的に推進してまいります。

新生児訪問など産後ケア等の実施により、肉体的・精神的に不安を感じる産婦を早期に発見し、ケアや治療に努め母子保健の充実を図ります。

思春期から性についての正しい知識を身に付け、妊娠・出産を主体的に考える基礎を作るために思春期教育を推進し、妊娠に関する知識の普及に努めてまいります。

保育園については、待機

児童ゼロの実現に向けて島外からの保育士の募集や待遇面の改善等による定着を図り、保育士不足の解消に取り組みとともに、各種研修を実施し保育の質の向上に努めます。

幼保連携型認定こども園の整備については、推進体制を強化し、早期実現にむけて取り組んでまいります。

就学前及び就学時の支援については、ファミリーサポートセンターの利用促進や、放課後児童クラブでの児童の健全育成を図り、子育て世代が利用しやすい仕組みづくりに取り組んでまいります。

児童虐待防止については、町民や関係機関への周知を図るとともに、要保護児童対策地域協議会と連携し、児童虐待防止や早期発見を強化します。

また、子ども医療費助成の通院対象年齢を中学校卒業まで拡大したところであり、子育て支援策として引き続き継続してまいります。

全ての町民が「自分の健康は自分で守る」という意識を高めるため、特定健診の受診勧奨及び生活習慣病の重症化予防に向けた取り

組みをより一層強化し、健診受診率向上や重度化防止に努めてまいります。

本町が独自で実施している子ども健康プロジェクトについては、医療機関や学校と連携し、健康診査、保健指導及び健康教育の充実を図り、よりよい生活習慣の獲得につながるよう取り組んでまいります。

また、町民一人一人に合った運動指導をトレーニングルーム「SMAP」(スマップ)を拠点に行い、運動習慣の定着を図りながら、子どもから高齢者まで町民全世代の健康づくりを支援してまいります。

国民健康保険及び後期高齢者医療保険においては、健康づくりの取り組みと連携し、疾病予防による医療費抑制に努めるとともに、保険料の収納率向上に努めることで、安定的な保険運営に取り組んでまいります。

障がい者の社会参加機会の確保や、自立した生活が送れるような共生社会の実現が求められています。引き続き障がい福祉関連事業所等と連携を図り、障がい者の自立支援に取り組んでまいります。

また、当事者とその保護者の高齢化に伴い、現存の障がい福祉サービスだけでは支援が満足に行き届かないという問題も抱えております。悩みを抱える方が孤立しないよう、関係機関と連携し、これまで以上に地域で支え合い、切れ目のないサービス提供体制を図ってまいります。

高齢者がどのような心身の状態であっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

本町においても高齢化率の伸びと共に独居高齢者や夫婦のみの高齢者世帯が増加傾向にあります。また、認知症高齢者も増加してきており、今後も増加が見込まれます。

多様化する高齢者のニーズに 대응するため、地域課題の把握や必要なサービスの創設等に取り組んでまいります。

生活困窮者や地域の要援護者を早期に把握し、自立・就労に向けた様々な支援サービスや社会福祉協議会と連携し、総合的・一体的に

新型コロナウイルス感染症対策については、ホームページ等の媒体を駆使し、町民に情報の提供及び共有をすること、町民と一体となり感染対策を継続してまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種については、町民への円滑な接種を実施するため、引き続き医療機関と連携した接種体制の構築に取り組んでまいります。

仲里歯科診療所の整備につきましても、新たに施設を整備する方針とし、早期再開に向けて努めてまいります。また、開院までの間、小児歯科の島外通院に係る